

北条鉄道（車窓から見える日本の田園風景）



季節ごとに沿線の風景が楽しめる北条鉄道



粟生駅から北条駅まで、13.6km を約 22 分で結ぶ北条鉄道は、旧国鉄北条線の廃止後に誕生した、第三セクター方式による市民の足である。駅数は 8 つのミニ路線であるが、沿線には西国札所の法華山一乗寺や古法華自然公園をはじめ、酒見寺、住吉神社、北条の五百羅漢などの見どころも多く、観光路線としても親しまれている。

のどかな田園風景や山々の緑を背にして走る一両編成のレールバスは被写体としても人気がある。「ローカル線ならではのゆったりとした時間」「窓の外を流れるように広がる田園風景」「心地のよいエンジン音と振動」「かつてのにぎわいの面影を残しながらたたずむ無人の駅舎風景」なども魅力で、単なる移動手段というだけでなく、そこで味わう贅沢な時間も魅力の鉄道である。

出典：ひょうご風景 100 選（神戸新聞総合出版センター発行）、加西市観光まちづくり協会 HP、加西市HP、ハートにぐっと北播磨HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☒ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市
	百選等実績	私の好きな兵庫の風景 100 選（兵庫県）
	祭礼、行事等	北条鉄道沿線さくらまつり、かぶと虫列車、すすむし列車、サンタ列車
	関係人物	
	活動団体等	ボランティア駅長
	関連する景観	一乗寺、古法華自然公園、酒見寺、住吉神社、五百羅漢、加西アルプス、県立フラワーセンターなど

コハクチョウ（ため池に飛来し優雅に舞う姿）



コハクチョウの群れ



加西市は、国内最南端のコハクチョウ越冬地の一つであり、毎年11月末になると、約4,000kmにも渡る長旅を終えたコハクチョウの群れが飛来し、翌年3月頃まで観察できる。コハクチョウが初めて飛来したのは1980年ごろであり、当時は数羽だったが、毎年少しずつ増え、近頃は50羽以上の群れが飛来する。加西市内では、伝通池・中池・三田池、山下新池、長倉池、水正池、逆池などで観察することができる。

水辺を優雅に舞う姿と水草をついばむ灰色の幼鳥の愛らしい姿は、この地域の冬季を象徴する景観であり、地元住民や愛鳥家をはじめ多くの人々に親しまれている。

出典：加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	伝通池、中池、三田池、山下新池、長倉池、水正池

北条住吉神社と節句祭（春を謳歌する祭り）



北条節句祭、龍王舞



東西の神輿



北条住吉神社本殿

住吉神社の本殿は切妻造、妻入の独特な形式で、著名な摂津の住吉大社の形式に類似している。住吉大社の形式は住吉造というが、北条住吉神社の形態は、その変形であるといわれ、古代にこのあたりが摂津住吉社の神領であったことと関係があると思われる。本殿は神社本殿の中では巨大なもので、それが三棟も並立していることも特徴である。建立は嘉永5年（1852）。

住吉神社で桜の季節の訪れとともに始まる「北条節句まつり」は優美さと勇壮さが織りなす華やかな春の祭りとして有名で、播磨三大まつりの一つに数えられ、長い伝統を引き継いでいる。東西の神輿、14台の豪華な屋台が、街中での巡行と勇壮な宮入を行い、古式ゆかしい鶏合せ神事、龍王の舞などが奉納され、祭りは終日大観衆でにぎわう。

兵庫県の無形民俗文化財に指定されている竜王舞は、屋宮に大歳神社と住吉神社の双方で同じように舞われる。毛槍を×字型に立てかけて矢来にし、観衆を制止して舞台をつくる。

このように、北条住吉神社とそこで繰り広げられる祭りや舞は北播磨を代表する歴史的文化的景観である。



出典：ひょうごの民俗芸能（神戸新聞総合出版センター発行）、加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市北条町北条 1318
	百選等実績	
	祭礼、行事等	北条町節句祭（鶏合わせ神事、龍王舞、浦安の舞、御幸行列）
	関係人物	
	活動団体等	北条まちづくり協議会
	関連する景観	酒見寺、五百羅漢寺、北条の宿（景観形成地区）

酒見寺（美しい多宝塔他の建造物が織り成す地域のランドマーク）



酒見寺多宝塔（国指定文化財）



酒見寺鐘楼（県指定文化財）



酒見寺楼門（市指定文化財）



酒見寺

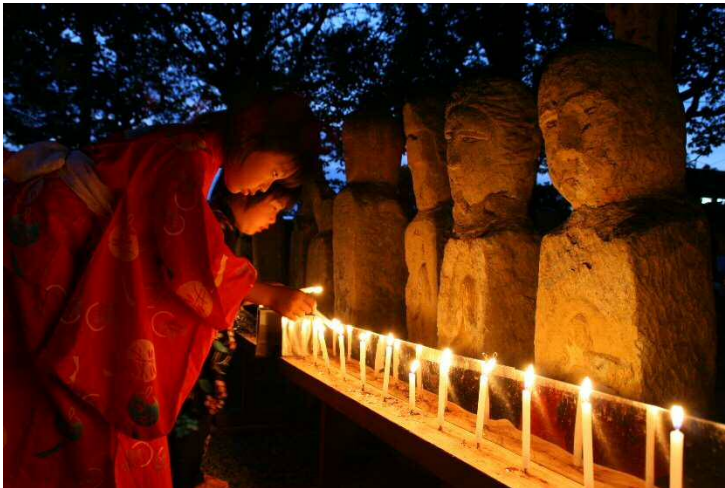


酒見寺は、天平 17 年（745）に行基がこの地を訪れ、酒見明神の神託により伽藍を建立したことに始まると伝える古刹である。境内には、山門や引声堂、地藏堂、多宝塔、新観音堂、本堂、鐘楼などが立ち並んでいる。多宝塔は、寛文 2 年（1662）に建てられ、塔内に大日如来を安置している。また、屋根の上重が桧皮葺、下重が瓦葺という珍しい様式で、全体に装飾文様を極彩色で描いており、全国でもっとも美しい多宝塔と云われている。これらの美しい建造物が地域のランドマークを形成している。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市北条町北条 1319
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	行基
	活動団体等	北条まちづくり協議会
	関連する景観	北条住吉神社、五百羅漢寺、北条の宿（景観形成地区）

羅漢寺、五百羅漢（謎に包まれて佇む石仏群）



五百羅漢千灯会



五百羅漢 石仏



紅葉時の五百羅漢石仏



北条小歴史ガイド隊



加西市から高砂市にかけての一带は、古来、良質の石の産地であり、多くの石造遺跡や遺物が残されている。特に有名なのが 400 体以上もの石像が境内に寄り添うように佇む羅漢寺の石仏群である。

「北条の五百羅漢」の名で広く知られる石仏は、釈迦に追従した五百人の聖者を称して五百羅漢と言われる。石仏の大半は石柱を削り出したような素朴な造りの立像で、地藏尊を思わせる穏やかな顔をしている。地元では古くから「親が見たけりゃ北条の西の五百羅漢の堂へござれ」と謡われ、多くの人々に親しまれてきた。

いつ頃に誰が、何のために造立したかについては諸説があるが、室町末期に小谷城主赤松氏が戦死者の供養のために建立したとも、羅漢寺の南に隣接する住吉神社（酒見社）の神職一族の墓所とも言われる。

お盆に営まれる千灯供養はまさに幻想的である。千灯会(せんとうえ)は、石仏の供養のため、本尊である薬師如来の縁日に併せ、8 月 8 日の夕べより開かれる。参詣者により灯された約 1 千ものろうそくのやさしい炎が幽玄の世界を醸し出す。

出典：ひょうご風景 100 選（神戸新聞総合出版センター発行）、兵庫百景Ⅰ（神戸新聞総合出版センター発行）、
加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☒ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市北条町北条 1293
	百選等実績	私の好きな兵庫の風景 100 選（兵庫県）
	祭礼、行事等	千灯会、五百羅漢紅葉ライトアップ、点灯会
	関係人物	
	活動団体等	加西市歴史街道ボランティアガイド 北条小歴史ガイド隊
	関連する景観	北条住吉神社、酒見寺、北条の宿（景観形成地区）

鹿咋山（女鹿山）と古墳群（播磨風土記を彷彿させる景観）



鹿咋山（女鹿山）

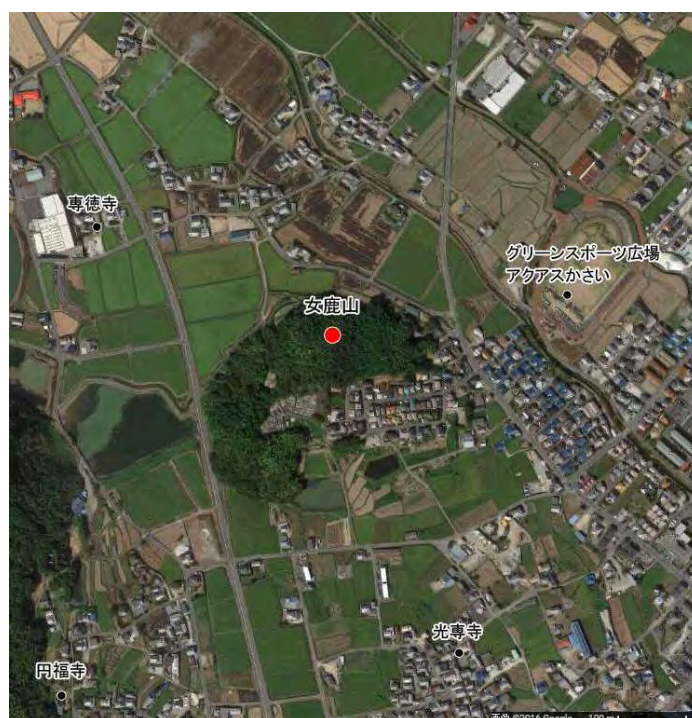


上：6号墳、下：21号墳

鹿咋山(かくいやま)は、『播磨国風土記』の中修布里の記述に出てくる。応神天皇が修布里に狩りにやってくる。すると山中で舌を噛んだ白鹿と遭遇したので、この山を鹿咋山と呼ぶ。これと同じような伝承が「穴(しさね)郡条」にもある。伊和大神が国づくりを終え国境を定めるため巡幸していると、舌を出した大きな鹿と遭遇するというものである。鹿咋山は女鹿山(めがやま)(北条町黒駒・女鹿山自治区・西上野町)に該当すると考えられている。

女鹿山古墳群は、22基の中期古墳群である。女鹿山6号墳、21号墳ともに墳丘の大半が破壊され芳しい保存状態ではないが、国内で生産がはじまったばかりの須恵器(初期須恵器)が出土した古墳として特筆できる。このようなことから、有力な豪族の古墳であるといえる。

このように、鹿咋山周辺は播磨風土記の時代の景観を彷彿とさせる景観を現在も引き継いでいる。



出典：古墳が語る播磨（神戸新聞総合出版センター発行）、加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市西上野町、北条町黒駒
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	北条住吉神社、酒見寺、北条の宿（景観形成地区）

石部神社（大きな門杉と伝統的な秋祭り）



石部神社



皇塚古墳



石部神社の秋祭り



石部神社門杉



石部神社の石段両側には、市指定文化財である2本の大きな門杉がそびえ立つ。石部神社鎮座の直後に手植えされたといわれており、2本とも根回り約5m、高さ約30mの大木である。門杉をくぐると本殿が現れる。

背後の三津山山頂には皇塚古墳がある。墳丘径16m、高さ2mの円墳で、古墳時代前期の自然の丘陵地を利用して造られた古墳であると推定されている。元正天皇の皇女を葬ったといわれており、鏡や刀剣、土師器、玉などが出土している。

石部神社の秋祭りは、毎年10月第2日曜日に行われる。境内では加西市の伝統芸能の一つである石部太鼓が披露され、2基の神輿と11基のこども神輿が練り出す。

大杉が地域のシンボルとなっており、稲穂が金色に実り垂れ下がる頃には、のどかな田園が広がる中を神輿が練り出し、威勢のよい声が響きわたる伝統的な景観が受け継がれている。

出典：加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市上野町 69-2
	百選等実績	
	祭礼、行事等	秋祭り
	関係人物	
	活動団体等	石部神社等祭り太鼓振興会
	関連する景観	皇塚古墳

小谷城跡（北条の町を治めた赤松氏の居城）



小谷城跡



小谷城跡は、室町時代に築造され、小谷赤松氏の居城となった山城跡である。赤松氏は、現在の北条地区に「古市場」を開いたことから、「田舎なれども北条は都、月に六斎（回）市が立つ」と謳われたように、その後市場町として発展した。城は天文 11 年（1542）に尼子氏との戦いで落城したといわれている。

陽松禪寺背後の山頂、東端に一の曲輪があり、西へ数段の曲輪がのびている。他にも空堀や土塁、竪堀や堀切などの遺構が確認できる。また、眼下には、赤松氏が治めた北条の町並みを見渡すことができ、歴史的背景を感じさせる景観を呈している。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP、加西市北条地区歴史的景観形成地区景観ガイドライン

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市北条町小谷
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	北条地区

北条の宿（街道沿いの歴史的な町並み）



「町かど亭」水田家住宅（国登録有形文化財）



北条町横尾の町並み



高井家住宅（国登録有形文化財）



北条の宿（ほうじょうのしゅく）は、1200年以上前に建立された住吉神社、酒見寺（さがみじ）の門前町として栄えてきた。戦国時代に小谷城主であった赤松氏が「古市場」を開いたことから、『田舎なれども北条は都、月に六斎（回）市が立つ』と謳われるほどに繁栄し、江戸時代には京都と出雲を結ぶ東西の街道に南北の街道が集まる交通の要衝にある宿場町として栄えた。

現在でも、住吉神社や酒見寺の周辺の門前町、そして旧街道沿いには当時の繁栄をもとに多くの商家が贅を競って趣向を凝らした家屋やその面影（卯建、虫籠窓、鰻絵、出桁造り等）を随所に見ることができ、散策の道として楽しめる。平成24年（2012）4月に景観条例に基づいて歴史的景観形成地区に指定されている。

高井家住宅（国登録有形文化財）は、江戸時代の伝統的な外観を残す町家である。この住宅は、周辺地域のなかでも端正で風格のある外観を留め、繁栄期の商家の佇まいを今に伝える貴重な建物である。景観形成重要建造物に指定されている。水田家住宅（国登録有形文化財）は、横尾歴史街道「町かど亭」の名称で平成26年（2014）7月よりカフェ兼旅籠としてオープン。山陽、山陰地方を結ぶ旧街道に面した建物で、手入れの行き届いた庭に囲まれた部屋でゆっくり流れる時間を楽しむことができる。このように、北条の宿の町並みは、地域の歴史文化にふれることができる景観を今も継承している。

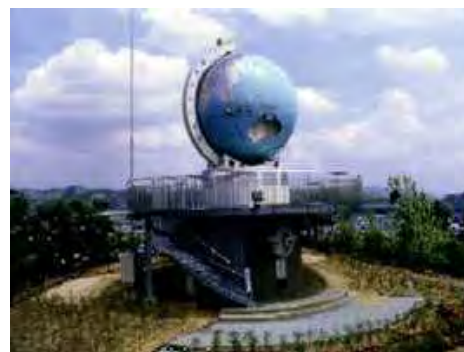
出典：兵庫県 HP、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☒ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市北条町（北条、栗田、横尾）
	百選等実績	私の好きな兵庫のまちなみ100選（兵庫県）
	祭礼、行事等	北条の宿はくらんかい
	関係人物	小谷城主・赤松氏
	活動団体等	北条まちづくり協議会
	関連する景観	北条住吉神社、五百羅漢寺

丸山総合公園（桜に囲まれた親水空間）



桜が咲き誇る丸山総合公園



世界一大きな地球儀時計



ローラー滑り台と中央広場



山頂から林間を爽快地に滑り降りる２本のローラー滑り台（197m、155m）やアスレチックがあり、ふもとには水際のプロムナードを楽しめる親水空間や展望テラスのある管理棟などが整備されている。

春には約８００本の桜が咲き誇り、中央広場からは、３６０°桜に囲まれてお花見も楽しめる。ギネスブックに認定された世界一大きな地球儀時計（直径５m、総重量１４t）があるなど地域の新しい景観をつくりだしている。

出典：加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☒ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市北条町西高室 591-15
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

「雲潤の里」と八王子神社（田園地域のなかの緑豊かな社寺林）



八王子神社



八王子神社の秋祭り



播磨国風土記に記述されている「雲潤(うるみ)里」の名は、飽きたという意味の「倦んだ」からきていると言われている。播磨国風土記では、あるとき丹津日子(につひこ)神が川の流れを雲潤の方へ別けようと、雲潤の太水(おおみず)の神に持ちかけたところ、鹿や猪の血で耕作するので川の水は不要と、太水神は断る。これを聞いた丹津日子神が「川を掘るのに倦んでこう言っているだけだ」と述べる。この「倦み」が「雲弥」となって、転じて雲潤になったという伝承がある。この雲潤が現在の地区名の「宇仁」へつながっていると考えられている。

宇仁地区の八王子神社は、宇仁小学校の北側にある。長暦元年(1037)に今の滋賀県日吉大社より、八王子大神を勧請して祀り、五穀豊穡、安産守護の神として崇敬されている。ひっそりとした参道を抜け、長い石畳の階段を上がると、眼前に大きな神社の姿が現れる。また裏山には鏡山古墳群が発見されている。

このように、八王子神社周辺は田園地域のなかにあって豊かな社寺林を現在まで引き継いでいる。

出典：加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP、ハートにぐっと北播磨HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市田谷町 1265
	百選等実績	
	祭礼、行事等	夏祭り(茅の輪くぐり)、秋祭り
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	鏡山古墳群

後藤山古墳（三段に造られた古墳時代の方墳）



後藤山古墳



後藤山古墳は、加西南部の倉谷町を見下ろす後藤山（標高130m）の中腹に位置する。

古墳時代に築造されたであろう横穴式の古墳で、下段が一边19mの方墳と推定される。前から見ると墳丘は雛壇を三段ほど重ねた塔のような造り方をしている。玄室の長さは約4m、幅が約3m近い規模は、7世紀後半にあっては傑出したものであり、その墳丘の大きさとともに特別な被葬者を考えることができる。

古墳の前には珍しい形をした全長約1.7mの石棺の蓋がある。縄掛け突起を持たない家形で、屋根が独特である。このように、後藤山古墳は古代の歴史を感じさせる景観を呈している。

出典：古墳が語る播磨（神戸新聞総合出版センター発行）、加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市倉谷町字芋畦 122
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

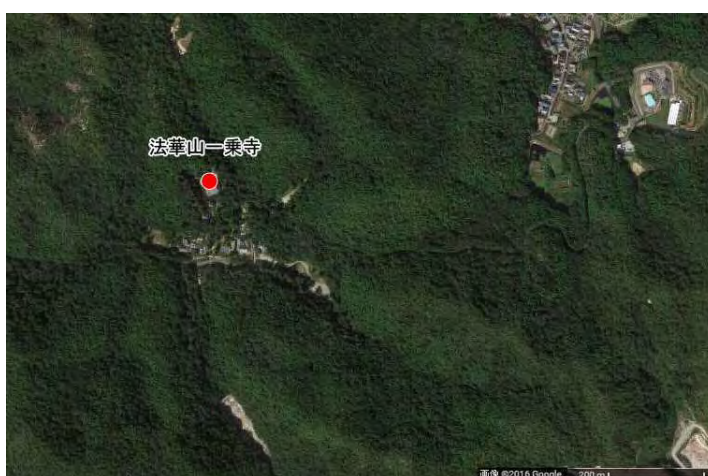
法華山一乗寺（1350年の歴史を誇る古刹）



三重塔（国宝）



一乗寺本堂



法華山一乗寺は、孝徳天皇の病を祈り、厚い信を得たという天竺（インド）の高僧法道仙人が白雉元年（650）に開いたと伝えられている。西国第26番札所、観音信仰の霊場としても広く知られている。

スギ、ヒノキの太木に覆われた小高い山の頂上に向けて、162段の石段が伸びる。うっそうとした木立に護られた境内には、平安末期に建立された国宝の三重塔をはじめ、本堂や護法堂、妙見堂、弁天堂などいずれも国の重要文化財に指定された仏教建築が存在する。三重塔は平安時代末期、承安元年（1171）の建立とされており、日本を代表する古塔の一つ。屋根は、上に行くほど小さくなるように造られており、安定感のある優美な塔である。その他、石造宝塔、奥の院開山堂などの文化財が多く存在する。古風で優美な三重塔や懸造（舞台造）の本堂など、境内の緑と諸堂伽藍が見事に調和している。

御詠歌に「春は花 夏は橘 秋は菊 いつも妙なる法の華山」とある通り、春、秋の時節には桜、紅葉の名所としても知られており、特に境内が紅葉で彩られると山間の古寺は観光客で賑わう。

出典：ひょうご風景 100 選（神戸新聞総合出版センター発行）、ひょうご風景 100 選 風と歩く（朝日新聞神戸支局発行）、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市坂本町 821-17
	百選等実績	私の好きな兵庫の風景 100 選（兵庫県） ひょうごの森百選（兵庫県） ひょうごの森林浴場 50 選（兵庫県） 風と歩く「ひょうご風景 100 選」（朝日新聞）
	祭礼、行事等	
	関係人物	法道仙人
	活動団体等	
	関連する景観	

善防山城跡（山頂に築かれた赤松氏の居城）



善防山跡



善防山を登るウォーキングイベント



善防山城跡は、善防山頂にある山城跡である。室町時代に赤松氏が築いた居城で、嘉吉元年（1441）に起きた嘉吉の乱により落城した。落城当時の城主は赤松則繁と伝えられている。合戦は凄まじく、明治初期まで白骨体が木の葉の下に眠っていたといわれ、現在も善防山を見渡せる鶉野の一角に戦死者を祀る「塚まち」がひっそりとたたずんでいる。

善防山頂の一の曲輪（くるわ）を中心に、東、西、北へ曲輪跡と思われる段平地が伸びており、わずかに石垣や堀切などの遺構を見ることができる。往時の山城の姿を想像させる景観が残されている。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP、北条鉄道沿線散策マップ（加西市観光まちづくり協会発行）

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市三口町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

長石採石場（石造文化を支えた長石の採掘場）



長石採石場



長石採石場で採掘される長石は、加工に適した凝灰岩であり、古墳時代から採掘が行われてきた。古墳の石棺や石仏、五輪塔など多くの石造品が作られ、高砂の竜山石、加西市の高室石等とともに播磨地方に花開いた石造文化を生み出した。今も主に建設資材用として採石が続いている。

北条鉄道沿線から西を眺めると、善防池越しに白い断崖がそそり立ち、地域の文化を築いた特異な景観が作り出されている。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP、北条鉄道沿線散策マップ（加西市観光まちづくり協会発行）
第 13 回加西ロマンの里ウォーキングパンフレット

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市西長町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

播磨下里駅（地域で親しまれているコミュニティ景観）



播磨下里駅 駅舎（国登録有形文化財）

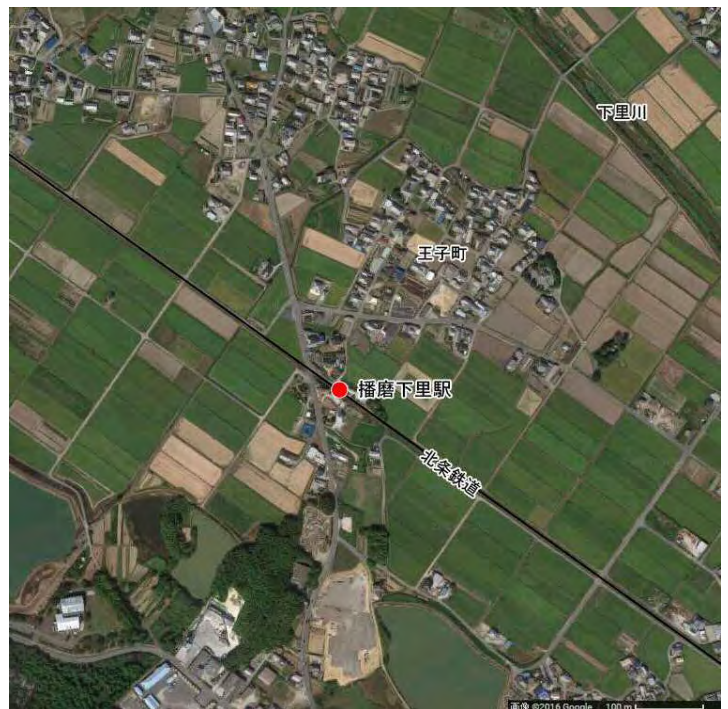


駅舎とプラットフォーム（大正7年建築）

播磨下里駅は田園の中の無人駅であり、大正4年に建設された歴史ある木造駅舎を有している。この駅では平成19年（2007）から僧侶のボランティア駅長が、月に3日出勤し「下里庵」が開扉されている。駅舎内には仏壇が設置され、人生相談やお経の勉強会、また鉄道ファン集いの場として地域住民に活用されている。

平成25年（2013）11月、歴史的景観に寄与しているものとして、国登録有形文化財となった。駅舎では県内で初めてのこと。鉄道サポーターが、ゴミ拾いやトイレ掃除、花の植栽などを行っている。

平成24年（2012）8月、地方企業の無償労働奉仕と浄財寄付によって最新式の多目的トイレと駅前駐車場が整備された。また、重さ40t以上もの原石を整列した石庭が完成。古法華自然公園、長の石山への最寄駅としてハイキング客が多く利用するなど、地域のコミュニティの中心景観を形づくっている。



出典：ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）、加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☒ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市王子町野中
	百選等実績	ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	ボランティア駅長、駅サポーター
	関連する景観	古法華自然公園

長池のブドウ畑（地域の農の営みをつくりだしている景観）



ぶどう畑



加西ゴールデンベリーA



特産づくりに力を入れる加西市で特徴的なブドウ畑で、9～10 月にかけては、白い袋をかけたブドウの実の摘み取り作業で活気づく。加西市では、昭和のはじめよりベリーA の栽培を始め、ぶどうの一大産地として栄えてきた。その技術と味が認められ、平成 19 年には、『地域ブランド（地域団体商標）』として特許庁に兵庫県で初めて認定された。また、兵庫県の認証食品『ひょうご安心ブランド』にも認定されている。

地域で取り組んできた果樹栽培が織り成す農業景観が、地域独特の景観を呈している。

出典：ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☒ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市東剣坂町
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	ボランティア駅長、駅サポーター
	関連する景観	古法華自然公園

笠松山（北播磨を特徴づける展望の場）



笠松山



笠松山山頂からの眺望



標高は 244m であるが、きれいな三角形の男性的な岩山で周囲からよく目立つ。登路である岩尾根の両端はすっきりと切れ落ちて展望も良い。足元はツツジやリュウノウギク、オケラなど低山の草花が飾る。山頂の展望台からは 360 度の展望で北は笠形山、北西に七種山、雪彦方面が展望できる。天気がよければ明石海峡大橋や淡路島まで見渡すことができる。眼下の播州平野は一面の田園で点在する農業用の池が日にきらめき、のどかな農村風景が広がっている。地域を代表する展望の場として特徴的な景観を呈している。

出典：ふるさと兵庫 50+8 山（神戸新聞総合出版センター発行）、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市東剣坂町字善防北ノ手
	百選等実績	ふるさと兵庫50+8山（神戸新聞）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	古法華自然公園 （古法華寺、加西アルプス、大柳ダム、つり橋）

加西アルプス（古法華を中心に東西に連なる尖峰群）



笠松山と善防山を結ぶつり橋



加西アルプスからの眺望



北条鉄道「播磨下里駅」を下車、徒歩約 10 分で到達する山々。のどかに広がる加西盆地を前景に、古法華を中心として東西に連なる善防山（251m）から笠松山（244m）へかけて岩山の起伏が見てとれる。ハイキングコースとしても知られ、その魅力は、笠松山の山頂から善防山山頂へと、ゆったりと延びる岩稜である。ところどころに低木が生育しているが、360 度のパノラマが広がり、山頂からは、平野部のため池、水田などが一望できる。

舗装された道の両側に迫る崖の上に、つり橋がかかっている。橋に上がると古法華自然公園が一望できる。山肌には磨崖仏の彫刻が見える。古くからの信仰の歴史と全国有数の石棺の産地でもある加西市の石工たちが山肌に仏を刻み込んだものと伝えられている。終点の標高 244m の展望台（笠松山）は、晴天なら六甲の山並みや播磨灘も望めるなど、勇壮な景観を楽しめる北播磨を代表する展望の場となっている。

舗装された道の両側に迫る崖の上に、つり橋がかかっている。橋に上がると古法華自然公園が一望できる。山肌には磨崖仏の彫刻が見える。古くからの信仰の歴史と全国有数の石棺の産地でもある加西市の石工たちが山肌に仏を刻み込んだものと伝えられている。終点の標高 244m の展望台（笠松山）は、晴天なら六甲の山並みや播磨灘も望めるなど、勇壮な景観を楽しめる北播磨を代表する展望の場となっている。

出典：ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市東剣坂町字善防北ノ手
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	古法華自然公園 （笠松山、古法華寺、大柳ダム、つり橋）

古法華自然公園（大自然に囲まれた緑と花の公園）



大柳ダム



古法華春祭り



キャンプ場



「色深まる秋」撮影：明野敏行氏
 （残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト入賞作品）



古法華自然公園は総面積 150ha、桜の名所として人気が高く、春は枝垂れ桜をはじめとしてミツバツツジの花、秋はキノコ狩りや山菜採りが楽しめる。

古法華春祭りは、桜の花が美しい 4 月、国の重要文化財である浮彫三尊仏龕の管理を行っている石仏保存会を中心に盛大に開かれる。儀式は、本尊のご開帳から始まり、中でも数十名の巫女たちによる浦安の舞の美しさは圧巻。その後、保存会や石彫体験者たちにより彫られた石仏の入魂の儀式などが行われる。また大柳ダムは、冬場にはカモやハクチョウなどの渡り鳥が多く飛来することで知られる。その他、炊事場やかまどを備えたキャンプ場は 100 人収容でき、4～9 月まで利用できる。このように、古法華自然公園は四季折々に多様な景観を呈しており、県民に親しまれている。

出典：ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市東剣坂町字善防北ノ手 1345-2
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県） ひょうごの森百選（兵庫県）
	祭礼、行事等	古法華春祭り（浦安の舞など）
	関係人物	
	活動団体等	石仏保存会
	関連する景観	笠松山、加西アルプス、古法華寺、大柳ダム、つり橋



山伏の護摩供養



境内に並ぶ石仏



古法華石仙



石彫アトリエ館



4月の古法華春祭りでは、日本最古の石仏のご開帳や山伏による無病息災、家内安全を祈願した大護摩供養、巫女による神楽の舞などが執り行われ、歴史的な雰囲気を感じられる景観を演出している。

出典：ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）、加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

加西市 - 21

常行院と石造七重塔（聖徳太子ゆかりの古刹）



常行院



常行院七重塔



常行院は、用明天皇の時代に聖徳太子が開基したとされ、白雉元年（650）には法道仙人が伽藍を造営したといわれている。現在の本堂は寛文三年（1663）のものである。境内にある石造七重塔は、室町時代中期に建造されたものであり、市の文化財に指定されている。背景となっている裏山には、浦上久松の居城とされる山下城跡がある。

周辺にはのどかな田園風景が広がり、街道の面影を残す道沿いには石仏が佇んでおり、古くから住民に親しまれた景観を今に伝えている。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市山下町 1394
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	山下城跡

山下城跡（戦国時代の武将浦上久松の居城）



山下城跡の憩いの場



山下城跡



山下城跡は、16世紀ごろ、戦国時代の武将浦上久松の居城として、標高約100mの山頂に築かれた山城跡である。山の麓には常行院があり、地域住民の散策の場としても親しまれている。

この旧跡を後世に残そうと、地域住民のボランティアが木々を伐採し、また県の補助金を活用して本丸跡には東屋が設置されている。地域のふれあいの場として活用される城跡からは見晴らしもよく、眼下に形成された集落と田園の広がる風景を楽しむことができる。

出典：加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市山下町城山
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	常行院

粳岡（糠塚山）と古墳群（古墳が語る地域の景観）



粳岡（糠塚山）



周遍寺ハイキングコースからの眺望



『播磨国風土記』の中で、檜原(ならは)里の糠岡は「大汝命(おおなむちのみこと)が下鴨里で米をつかせると、粳が散り飛んできた場所なので粳岡と呼ぶ」とあるが、粳岡は南網引町の糠塚山が比定されている。この周辺には、古墳群や石棺仏が多く存在し、歴史ハイキングを楽しむことができる。

周遍寺山1号墳は、長辺約10mの長方形墳で、葺石が四隅を突出させるように見えることから、山陰地方の四隅突出型墳丘墓との関係が指摘されてきた。堀山3号墳は、中期方墳で、一辺約9m。二基の石棺が並列していたが、両者ともに白い粘土で側と蓋石上を丁寧に覆っており、粘土を使って密封している事例である。

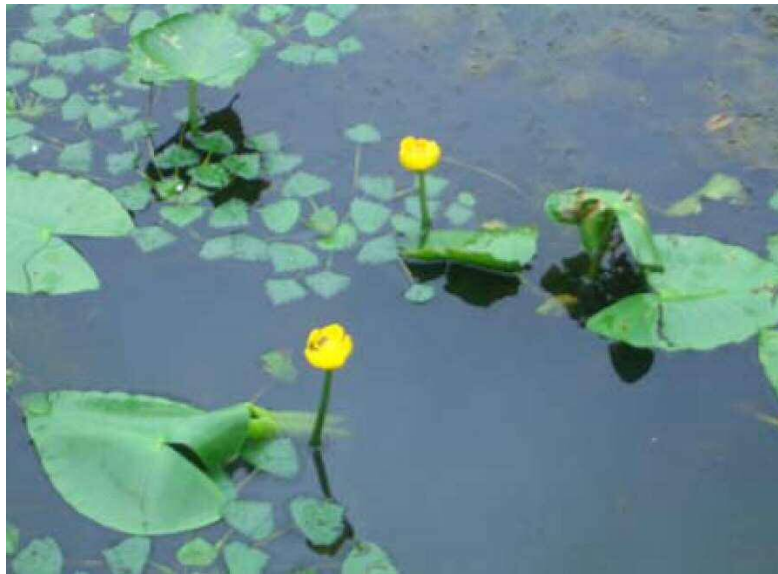
状覚山古墳群は、横穴式石室内部に石で囲った石棺を構築している。7世紀の古墳群では木棺を使う人々とは別の埋葬方法を採用する人たちもいたと考えられる。

このように、糠岡周辺は、古墳群が悠久の歴史を語る景観を今に伝えている。

出典：古墳が語る播磨（神戸新聞総合出版センター発行）、加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市網引町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	周遍寺（ハイキングコース）、上池・下池

上池・下池（豊富なわき水に守られた貴重な固有種）



コウホネ



わき水が豊富で枯れたことがないという上池は、隣接する下池とともに農民の命綱となってきた。冷たく澄んだ水が、貴重な固有種を守ってきたが、下池ではヌートリアやブラックバスの生息が確認された。それぞれの環境を保つため池は、固有種を守り、育んでいる。特にヒメコウホネは古くて水の澄んだ池にのみ生息し、可憐な花は古来、日本人に親しまれてきた。氷河時代の名残とされる水草もひっそりと生き続け、この池はいつから存在するのだろうかという感慨をかきたてる景観を伝えている。

出典：播磨のため池（神戸新聞総合出版センター発行）、加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市網引町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	糠岡（糠塚山）、万願寺川、古墳群

北条鉄道 網引駅の大銀杏（ふるさとの懐かしい景観）



「帰ってくる場所」撮影：森谷一徳氏
（残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト入賞作品）



網引駅駅舎



旧網引駅舎は昭和 59 年（1984）に焼失したが、平成 25 年（2013）2 月、地元企業の無償労働奉仕と浄財寄付により網引駅が完成。駅舎内ではボランティア駅長による「切り絵教室」や「鉄道グッズ」の販売、地域住民との交流を広げる憩いの場として活用されている。同時に駅周辺はサイクリング中間点休憩所として、最新式多目的トイレ、駐車場、駐輪場、花壇が整備され、多くの方々に利用されている。駅待合室には駅長が撮影した列車の写真や作品が展示されている。駅舎と大銀杏の木があいまって、故郷として帰ってきたくするような懐かしい景観を再生している。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市網引町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	ボランティア駅長、駅サポーター
	関連する景観	

あびき湿原（貴重な動植物が生息する湧水湿原）



あびき湿原



湿原に咲く花々



ハッチョウトンボ



あびき湿原は、加西市の重要な生態系に選ばれる県内でも非常に規模の大きな湧水湿原である。多くの絶滅危惧種の動植物が生息しており、貴重な自然を守るため手造りの木道が設置されている。

この豊かな自然を子どもたちに伝えていくため、周辺住民が中心となり「あびき湿原保存会」が発足した。湿原保全や希少動植物保護を目的に、冬場は湿原内の枝木の伐採や散策道の整備、春夏はボランティアガイドとして湿原の魅力を伝える活動を行っている。

7月には、湿原が水を含み、ハッチョウトンボやサギソウなどの貴重な動植物の観察ができる。

糠塚山とともに、環境省の生物多様性保全上重要な里地里山に選定されるなど、自然豊かな美しい景観が保全されている。

出典：加西市 HP、広報かさい（2015.8月号、10月号）、かさい教育ねっと（No.25）

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市網引町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	糠塚山

八幡神社（明治時代に小野市から伝わった獅子舞）



八幡神社の獅子舞



八幡神社は、加西郡史によると、勧請は永正２年（1505）といわれ、由緒から飾東郡松原村（姫路市白浜町）鎮座の神を分霊したものと思われる。10月には網引町の秋祭りが行われ、八幡神社境内では獅子舞が奉納される。獅子舞は、明治20年（1887）に小野市来住町から伝わったもので、加西市の民俗文化財に指定されている。伝承されている舞は13演目あるが、中でも「谷渡し」は6mの梯子を山形に組み、その段上での舞いであり大変迫力がある。このように八幡神社は県下でも貴重な祭礼の景観を継承している。

出典：加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP、ハートにぐっと北播磨HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市網引町 842
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

「川合の里」と乎疑原神社（里で継承されてきた歴史文化資源と祭り）



乎疑原神社



乎疑原神社の天神祭り



石造鳥居と梵鐘（市指定文化財）



播磨国風土記に記述されている「川合（かわい）の里」の由来は、「端鹿（はしか）川の尻と鴨川がこの村で会うから」とある。端鹿川とは、端鹿里を流れる川、つまり東条川と考えられる。東条川の尻（最下流）で会う（合流）する鴨川は、賀毛郡を流れる最大の川である加古川と考えられる。川合という地名は、現在小野市に河合地区として残っている。

乎疑原（おぎわら）神社は、学問の神様として知られる菅原道真を祀る神社であり、3月には命日にちなんで天神祭り（三月例大祭）が開かれる。神社には立派な梵鐘があり、その銘文に、「播州賀西郡西河合郷」とある。増位山随願寺（姫路市）にあった梵鐘が、大永6年（1526）にこの神社に寄贈され、その際に追記されたといわれている。

このように、乎疑原神社はその社寺林と共に、里で継承されてきた歴史文化資源と祭りを現在まで引き継いでいる。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市繁昌町 529
	百選等実績	
	祭礼、行事等	天神祭り（三月例大祭）
	関係人物	菅原道真
	活動団体等	
	関連する景観	

水正池（飛来するコハクチョウの姿）



「家族でフライト」撮影：赤松博文氏
（残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト入賞作品）



コハクチョウの姿



ハクチョウが、約 4,000km に渡る長旅を終え、加西市に飛来するが、水正池もハクチョウの越冬地のひとつ。ハクチョウが初めて飛来したのは 1980 年ごろで、当時は数羽だったが、近頃は 30 羽以上の群れが飛来する。3 月上旬まで、三田池（豊倉町）や水正池（上宮木町）などで観察できる。冬の風物誌として親しまれる景観を呈している。

出典：広報かさい（2015.2 月号）、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市上宮木町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	三田池

旧海軍鵜野飛行場跡地（太平洋戦争時の貴重な戦争遺産群）



飛行場跡



地下飛行指揮所跡



鵜野平和祈念の碑苑



機銃座



防空壕跡



爆弾庫跡



鵜野飛行場跡（姫路海軍航空隊鵜野飛行場、川西航空機姫路製作所鵜野工場跡）は、太平洋戦争が悪化しはじめた頃、優秀なパイロットを養成するため、昭和 17 年（1942）に着工し、昭和 18 年（1943）に完成した旧日本海軍の飛行場跡である。当時、航空隊には、17 歳から 25 歳までの若者が全国から約 320 名集められ、ここで 30 時間の飛行訓練を受けた後、各航空隊へと散っていった。昭和 20 年（1945）には、練習生による神風特攻隊「白鷺隊」が編成され、終戦までに 63 名の尊い命が失われた。

今でも飛行場跡地周辺には防空壕跡や機銃座跡など多くの歴史資産が残されている。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☒ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市鵜野町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	鵜野平和祈念の碑保存会、鵜野中町花家族の会
	関連する景観	北条鉄道 法華口駅

気球（加西の空を飛ぶカラフルな熱気球）



「全日本学生選手権」に向けて練習する熱気球チーム



子ども熱気球教室



バルーングロー（夜間係留）



加西市では、「熱気球全日本学生選手権」を開催するなど、「気球の飛びまち かさい」と題して玉丘史跡公園や鵜野飛行場跡地等における気球を活用したイベントの開催に力を入れている。

全国から15の大学熱気球チームが集い、加西の空を飛ぶ姿は壮観な眺めである。また、バルーングローと呼ばれる夜間係留では、暗闇にバーナーの炎で熱気球が照らされ、幻想的な世界を醸し出す。

出典：加西市 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☒ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市鵜野町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	鵜野平和祈念の碑保存会、鵜野中町花家族の会
	関連する景観	北条鉄道 法華口駅

東光寺（伝統的な田遊びと鬼会の儀式）



たいまつを振り回す赤鬼と鉾を持った青鬼



たいまつを持つ赤鬼



東光寺



五穀豊穡を祈る田遊びの儀式



白雉 2 年（651 年）法道仙人による開基である万願寺が天文 7 年（1538 年）の兵火により消失し、南の坊のみが再興された寺である。

田遊び・鬼会は、東光寺の本山にあたる比叡山の行事に合わせて、毎年 1 月 8 日午後 7 時頃より始まる。田遊びは五穀豊穡を祈る儀式であり、農作業のしぐさを奉納する。県下ではこの東光寺にだけ伝わっている非常に貴重な儀式である。鬼会は悪霊や災難を追い払うもので、たいまつや矛を手にした鬼が現れ、激しく暴れまわる。室町末期頃には既にあったと思われ、その後中断と再開を繰り返してきた。国指定無形民俗文化財に指定されている。

儀式は、本殿拝殿で「田遊び」から始まり、福太郎・福次郎・田主が、種まきから収穫までのしぐさをして、五穀豊穡を祈る。「田遊び」が終わると、引き続き「鬼追い」の行事となり、赤鬼がたいまつ、青鬼が矛を持って、堂内をあばれ回り、悪霊や災難を追い払う。この福太郎・福次郎、そして赤鬼・青鬼には、厄年の男性が扮することで厄払いになると言われている。ここでの鬼は海のかなたや山奥から祝福のために人里に下りてくる神様のことだと言われている。このように東光寺は県下でも貴重な祭礼の景観を継承している。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市上万願寺町 392
	百選等実績	
	祭礼、行事等	田遊び、鬼会
	関係人物	法道仙人
	活動団体等	
	関連する景観	

女切池と女切峠（女切ろまん伝説の舞台）



女切峠



女切池



加西の奥、東光寺の近くにあたる上万願寺から上芥田へ越す峠の坂を「おなきり坂」と呼び、坂の頂上には二つの塚が祀られている。この塚に秘められた若い二人の悲しい恋の物語「女切ろまん伝説」の舞台である。

「市兵衛」という男が恋人「てる」を追って身投げしたと伝えられ、地元立つ2人の墓には今も花が供えられる。地元の原始人会は、地域の民話である「女切峠」を劇化し、地域の人々で演じている。

女切池は、万願寺と芥田の集落を隔てる女切峠にあり、池には弁天を祀ったとされる石造物がある。近くの山居池とともに上芥田町の田、約30haを潤している。伝説を今に伝える取組みが進む地域の重要な景観である。

出典：播磨のため池（神戸新聞総合出版センター発行）、加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP、ハートにぐっと北播磨HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市上万願寺町、上芥田町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	原始人会
	関連する景観	東光寺

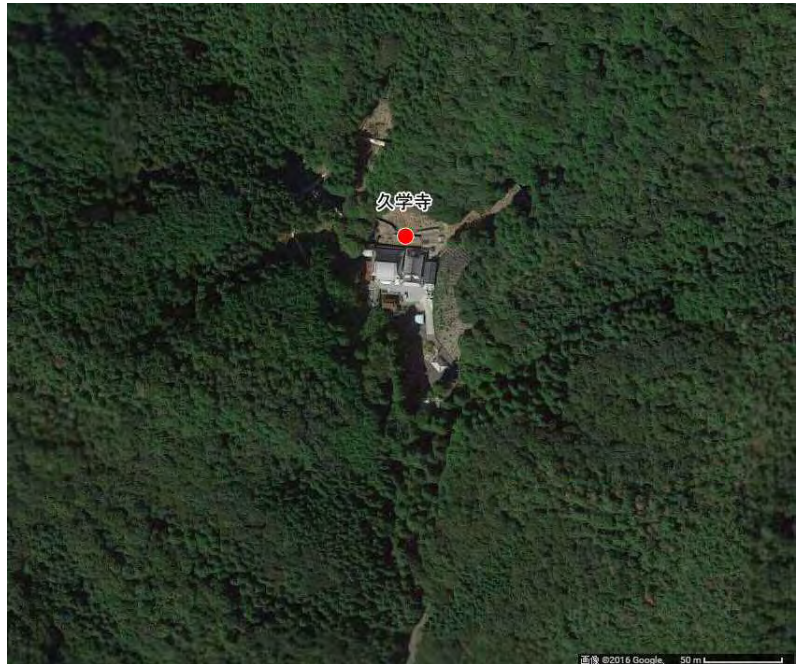
久学寺（森に囲まれた赤穂義士ゆかりの地）



建て替え後の本堂



巨木が立ち並ぶ参道



浅野藩三がく寺の一つと称される「久学寺」。赤穂藩浅野家代々主や四十六士の義士位牌が堂にまつられており、12月には恒例の義士祭が行われる。

赤穂城主となった浅野内匠頭長直公は赤穂藩 53,000 石の領地を見聞され、特に飛地で石高の多い旧加西郡の北部（現加西市）8,920 石の領地を熱心に見聞された。そしてその途中、久学寺にて宿泊され、当時の住職に深く帰依され山林田畑 12 石を寄付され、浅野家の菩提寺として父、長重公と浅野家代々の弔祭を依頼されたと伝える。赤穂義士ゆかりのいわれを今につたえる景観を呈している。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市上芥田町 982
	百選等実績	
	祭礼、行事等	義士祭（12 月）
	関係人物	浅野内匠頭長直公
	活動団体等	歴史街道ボランティアガイド
	関連する景観	

亀山古墳（山頂に造られた大型円墳）



墳丘の裾に並ぶ円筒形の埴輪



被葬者のための副葬品



いこいの村はりま



いこいの村はりまの桜



亀山古墳は、玉丘古墳の北東に位置する亀山山頂（標高約 161.5m）にあり、南北約 50m、東西約 45m の大型円墳である。ほとんど盛土を行わず、葺石や段築も省略し、埴輪列と丘の整形だけで古墳が造られている。墳頂部には岩盤を掘り込んで造られた 2 つの埋葬施設が確認されているほか、眉びさし付きかぶとなどの副葬品が出土し、この地域の首長の墓であると考えられている。

眼下には、いこいの村はりまが整備され、豊かな自然の中で快適な余暇を過ごすことができる。春先になると公園の東側の畑には、たくさんのスイセンが咲き乱れる。またスイセン畑を囲うように桜が植えられており、満開の桜とスイセンの美しい協演が楽しめる。

出典：古墳が語る播磨（神戸新聞総合出版センター発行）、加西市 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市笹倉町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	玉丘古墳群（玉丘史跡公園）、いこいの村はりま

いこいの村はりま（豊かな自然と遥かな眺望）



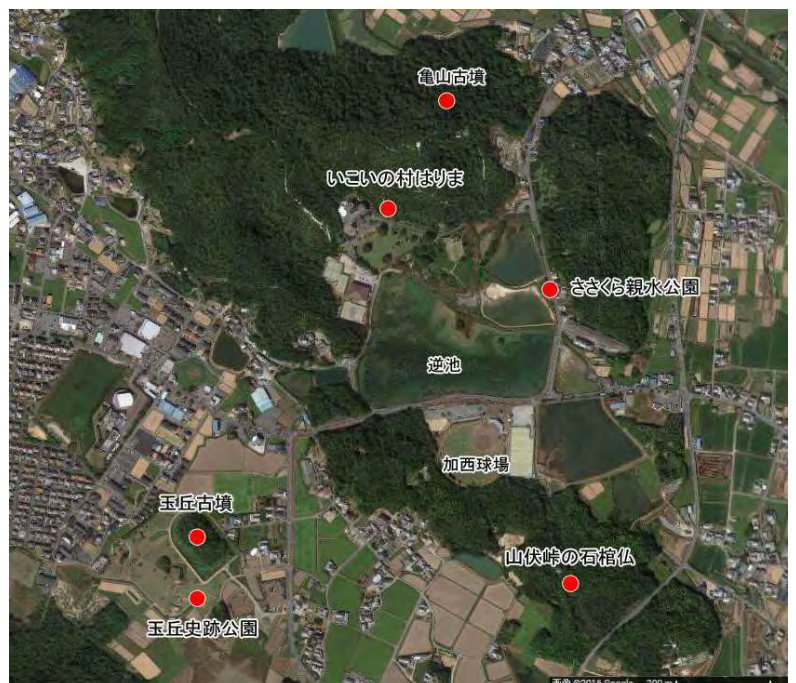
展望台からの初日の出



北の笠形山、鎌倉山を望む



桜とスイセンが咲き誇る



いこいの村はりまには、緑いっぱいの芝生広場と茶室を配した庭園があり、散歩道には桜並木、それらを映す水面には水鳥たちが遊び、豊かな自然の中で快適な余暇を過ごすことができる。

加西市でも有数のスイセンの名所であり、春先になると公園の東側の畑では、たくさんのスイセンが咲き乱れる。またスイセン畑を囲うように桜が植えられており、満開の桜とスイセンの美しい協演が楽しめる。

背後の亀山山頂には亀山古墳があり、玉丘古墳群を見下ろしている。また、裏山にそびえたつ高さ約 20m のランドマーク展望台は、加西市のキャラクター「根日女」をモチーフにデザインされており、玉丘古墳はもとより、遠く明石海峡大橋までも眺望できる名所となっている。

出典：ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市笠倉町 823-1
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）
	祭礼、行事等	新春のつどい、加西観月のタベ など
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	玉丘古墳群（玉丘史跡公園）、亀山古墳

鴨谷（播磨国風土記「鴨里」の伝承の地）



鴨谷町の風景



鴨谷町の風景



鴨谷の地名は、播磨国風土記の鴨里の伝承に記述がある。応神天皇（品太天皇）が射よと命じた矢に当たった鴨が落ちた場所を鴨谷（かもたに）と呼ぶ。鴨谷の名称は、現在も鴨谷町として残っており、当時の鴨谷がこの周辺地域を指すと考えられている。鴨谷町からは、古代の集落遺跡の鴨谷遺跡が発見されている。

鴨谷町周辺にはため池と田園からなるのどかな風景が広がっており、鴨が飛ぶ姿と相まって播磨国風土記の物語を感じさせる景観を呈している。

出典：加西市 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市鴨谷町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	鴨谷遺跡

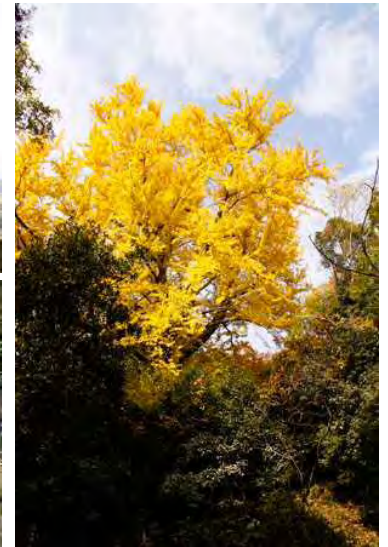
殿原の「お葉付きイチョウ」(地域のランドマーク)



庚申堂の境内に立つイチョウ



庚申祭の様子



樹高 30mを超えるイチョウ



葉のふちにつく種子(ギンナン)



荒神山の中腹まで、集落から歩くこと 20 分。庚申堂（清水寺）境内に立つ「お葉つきイチョウ」はまっすぐに立つ直幹のイチョウで、兵庫県の天然記念物に指定されている。樹高 33m、根廻り 5.9m、目通り幹囲 4.0m をはかる推定樹齢 300 年の大イチョウである。4m 付近から多くの枝を一斉に分枝して樹形を整えている。葉のふちに種子（ギンナン）をつける珍しいもので、これは、二股にわかれた軸の先の胚珠を乗せている部分が伸びだして葉になるために起こるといわれている。清水寺境内では、毎年 3 月第 2 日曜日に『庚申祭』が開催されている。地域のランドマークとなる大木である。

出典：ひょうごの巨樹・巨木 100 選（社団法人兵庫県林業会議、社団法人兵庫県治山林道協会発行）、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市殿原町 1033
	百選等実績	ひょうごの巨樹・巨木 100 選（(社)兵庫県林業会議、(社)兵庫県治山林道協会）
	祭礼、行事等	庚申祭（3 月）
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	庚申堂（清水寺）

普光寺の森（播磨国風土記「河内里」に建つ古刹）



普光寺本堂



石造宝篋印塔



ハイキングコースからの眺望



山アジサイ



モリアオガエル生息地



蓬萊山普光寺は、書写山円教寺や法華山一乗寺と並ぶ「播磨六山」の 1 つに名を連ねた古刹である。参道を進むと、享保年間に造立された仁王門があり、このあたりから立ち並び石造物は、延々と本堂まで続き、参拝者の目を見張らせる。本堂正面にそびえ立つ高さ 7m、重さ 22 トンの巨大な春日灯籠は、東洋一の大きさとも言われている。

周辺は、モリアオガエルやヒメハルゼミなどの希少な生き物の生息地を巡るハイキングコースも整備されており、加西市内でも特に美しい自然が楽しめる地域である。山アジサイも多く自生する。

播磨国風土記に出てくる河内(こうち)里は、普光寺川上流域の河内町周辺が比定地とされている。河内里に、住吉大神が従神とともにやってくる。大神が村で食事をとろうとすると、従神たちは村人が刈り集めた草を散らし、大神の敷物にしてしまう。この草は苗代を作るために集めたものだったので、困った草主は大神にその旨を訴える。すると大神が「汝の田は草を敷かなくても苗が生育する」と宣言する。これ以降、この村では草を敷かなくても苗代ができるようになったという。播磨風土記ゆかりの景観を今に伝えている。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市河内町 1449
	百選等実績	ひょうごの森百選（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	モリアオガエル生息地、山アジサイ自生地、鎌倉山

河内城跡（播磨国風土記「河内里」に築かれた山城跡）



鎌倉山行者道ハイキングコースから河内城跡を望む



河内城は、室町時代の応永27年（1420）に加西市域を中心に北播磨を支配した赤松一族衆在田氏の居城として築造された。現在も登城道、堀切跡などが残る。

六處神社の西側の山頂に築かれた山城跡に至るルートは、遊歩道として整備されており、神社が登山口となっている。また、周辺の森林は「河内ふれあいの森」として整備され、要所に道標や東屋などが設けられている。

河内城跡の北にそびえる鎌倉山は、古くから神体山として神々の古里と崇敬され、江戸時代からは修験道の中心となった。この行者道を巡るハイキングコースが地元住民の努力により整備され、道中からは河内城と河内町を望むことができる。

播磨国風土記に出てくる河内（こうち）里は、河内城の眼下に広がる河内町周辺が比定地とされており、播磨国風土記ゆかりの景観を今に伝えている。

出典：加西市HP、広報かさい（2010.9月号）

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市河内町西谷
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	六處神社、河内ふれあいの森、鎌倉山

日吉神社（伝統的な祭礼の継承）



日吉神社大祭



上：日吉神社
左：藤の花



御田植祭



弓引き神事



日吉神社は、鎌倉山を御神体山として崇めている。天長 7 年（830）奥宮のある鎌倉山より神様を里に迎え、約 1300 年前に近江国日吉社（滋賀県大津市日吉大社）より御分霊をいただいたのが、現在の日吉神社であると言われている。

日吉神社の神使は「猿」であり、神猿と書いて「まさる」と呼び、「魔が去る」または「勝る」の意で魔よけ等の神徳があるといわれている。本殿には、「眼猿（みざる）」「口猿（いわざる）」「耳猿（きかざる）」の珍しい彫刻がほどこされている。

日吉神社大祭は毎年 10 月の体育の日の前日に行われる。周辺地域より 6 基（以前は 7 基）の神輿が集まり、巡行する姿は勇壮である。御田植祭は五穀豊穡や子孫繁栄などを祈念し、赤米や紫米などの早苗を田植えして奉納するもので、県下でも稀な伝承行事のひとつ。神田前に作られた拝殿で神事が行われたあと、太鼓の響くなか、紺の着物に菅笠の早乙女姿に扮した親子たちが田植えを行う。春には藤の花が見ごろを迎える。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☐ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市池上町 7
	百選等実績	
	祭礼、行事等	日吉神社大祭、弓引き神事、御田植祭
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	鎌倉山

玉丘古墳と史跡公園（根日女ロマンの郷）



玉丘古墳



玉丘古墳周辺の景観



玉丘史跡公園



玉丘古墳は、全長約 109m、前方部幅約 54m、後円部径約 64mの兵庫県下 6 番目の規模をもつ古墳時代中期の前方後円墳である。墳丘は 3 段築成からなる。後円部中央には盗掘穴があき、穴底に凝灰岩製の長持ち形石棺材が残っている。墳丘くびれ部の一方には、造出し部が確認でき、凝灰岩の葺石が残っている。墳丘周囲には、幅約 20m の周濠が巡り、外堤には円筒埴輪が樹立していたとされる。出土遺物には、家形・鶏形埴輪のほか多数の円筒埴輪が出土している。

玉丘史跡公園内は、玉丘古墳を中心とする 6 基の古墳と、移築復元した 1 基の古墳が点在しており、それらの古墳を取り囲むように芝生広場や湿地観察園、ガイダンス棟、野鳥観察デッキなどが整備されている。周辺には笹塚古墳、クワンス塚古墳等、計 9 基の古墳があり、古墳時代中期の良好な古墳群を形成している。

播磨国風土記、賀毛郡の条に記載された根日女悲恋伝承の舞台として知られている。古墳時代の恋物語を文献で今に伝える古墳は全国的にも稀で、古代の浪漫が漂う公園は悠久の時を越えて市民に親しまれている。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市玉丘町 76
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	長倉池、笹塚古墳、クワンス塚古墳、マンジュウ古墳

長倉池（豊かな自然とコハクチョウの群れ）



初夏の長倉池



コハクチョウの群れ



ミズトラノオの群生



冬の長倉池（日の出とコハクチョウ）



長倉池は、周辺に農業用水を供給する皿状のため池で、隣接する牧草地、玉丘史跡公園や周囲の山林と一体となり、特に朝方、牧草地から昇る朝日や西の山に夕日が沈む時の景観は他に類を見ないすばらしさである。

加西市は、隣接する小野市とともにコハクチョウの越冬南限の地であり、毎年稲作終了後の池干しが終わり、水が溜まり始めると付近の池で越冬していたコハクチョウが飛来し、北帰行までの集結地となる。また、長倉池は近畿地方におけるミズトラノオの代表的な群生地となっており、池周辺はカスミサンショウオ、ニホンアカガエル、ヒメナエ、ゴマクサなどの貴重な動植物が生息しており、農業高校等の環境研究活動の拠点のひとつとして利用されている。また、ヨシの群生が広がり、晩秋の夕景は絵画のようである。

出典：播磨のため池（神戸新聞総合出版センター発行）、農林水産省 HP、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市玉丘町
	百選等実績	ため池百選（農水省）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	玉丘史跡公園

ささくら親水公園（水辺の憩いの空間）



ささくら親水公園



「女のみち」の歌碑



亀山古墳や玉丘古墳の周辺に立地する歴史的な環境を有する地域のなかにあり、ため池を利用した公園として整備され、県民、市民に親しまれている。

池にはカモやアヒルがみられ、芝生広場は市民の憩いの場となっているほか、釣りも楽しめる。さらに加西市出身の宮史郎にちなみ「女のみち」の歌碑がつけられている。

このようにささくら親水公園は地域の身近な自然環境を楽しめる景観資源となっている。

出典：ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市笹倉町
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	いこいの村はりま、逆池

山伏峠の石棺仏（峠の山道に佇む南北朝時代の石棺仏）



県下最大といわれる石棺仏



中央の石棺仏



松林の峠道



松林の峠の山道にひっそりと佇み、行きかう旅人に多くのやすらぎを与えてきた 3 基の大きな南北朝時代の石仏がある。うち 1 つは、後期古墳時代の家形石棺の蓋石に阿弥陀坐像を彫ったもので、高さは 2.25m もある。県下最大の石棺仏と云われており、家型石棺の蓋石で地上の見えるところでは周りに 5 つの縄掛け石も確認することができる。中央には印を結んだ阿弥陀如来が彫られており、約 700 年前の南北朝時代に造られた当時の情景を思い浮かべることができる。

出典：ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）、加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市玉野町 1126-1
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

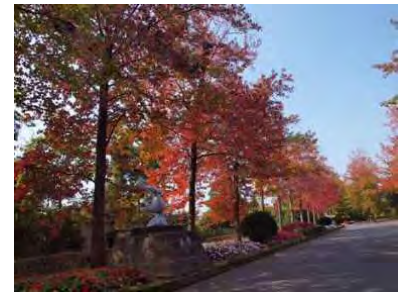
県立フラワーセンター（花とみどり・水と歴史の景観）



「色鮮やかに咲き競う」 撮影：山口康博氏
（残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト入賞作品）



亀の倉池



彫刻の道

出典：兵庫県立フラワーセンターHP

温室群の前には亀の倉池があり、周囲 2km の池を囲む 46ha の松の自然林に、近代的な設備の大温室や緑に映えるカラフルな花壇が点在し、四季折々の美しい花が絶え間なく見られる。春先には 15 万本のチューリップが咲き乱れる。また 300 種以上ある球根ベゴニアも見もの。「さくら園」、山道を染める「つつじの小道」、全国の木を集めた「ふるさと森」、にの森」、「秋の七草園」などがある。

一番の魅力は、例年 3 月から開催される「チューリップまつり」。様々な美しいチューリップを楽しむことができる。また、チューリップの本場オランダ気分が味わえるオランダ衣装体験や日本有数の栽培レベルを誇る食虫植物にも出会える。紅葉の時期になると、北側入り口から事務所向かう一本道（花と彫刻の道）の両側に植えられたモミジバフウの並木道は、映画やドラマに出てきそうな雰囲気がある。

播磨国風土記に登場する飯盛嵩（いいもりだけ）は、大汝命がこの山で飯を盛ったからとされ、飯盛山が比定されている。このように、花と水と緑と歴史の景観を楽しめる公園である。



出典：ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）、ひょうご風景 100 選 風と歩く（朝日新聞神戸支局）、加西市 HP
加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市豊倉町飯森 1282-1
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県） 風と歩く「ひょうご風景 100 選」（朝日新聞）
	祭礼、行事等	チューリップまつり
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	飯盛山

吸谷廃寺跡（播磨国風土記「修布里」の古代寺院跡）



吸谷廃寺礎石



慈眼寺（吸谷廃寺跡）



周辺の遺跡分布



吸谷廃寺は、飛鳥時代に創建されたといわれている古代寺院跡である。その範囲は吸谷町の慈眼寺境内付近と考えられ、塔心礎をはじめとする礎石が多く散在している。これまでに僧坊跡と考えられる掘立柱建物や幡幢を立てるための支柱と考えられる柱穴が発見されている。

周辺には、女鹿山古墳群や村前遺跡などの遺跡が発見されており、吸谷廃寺と密接な関係にある集落跡と考えられる北ノ下遺跡も発見されている。

播磨国風土記に登場する「修布（すふ）の里」の地名の由来となった「修布の井戸」は、吸谷町柏原家にある井戸とされている。現在でも水が湧き出て、この土地の水の恵みを感じ取ることができ、播磨国風土記ゆかりの景観を今に伝えている。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市吸谷町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	女鹿山古墳群、村前遺跡、北ノ下遺跡

ゆるぎ岩（善人が押せば動くと言われる神石）



ゆるぎ岩



ゆるぎ岩は、畑町イザナギ山の中腹にあり、昔から「ゆすり岩」ともいわれ神石とされてきた岩である。その昔、法道仙人が「善人が押せば動き、悪人が押してもびくともしない。この岩を押して動かないときは自分に邪心があるから、罪悪を懺悔して正直慈悲の人に立ち返りなさい」と言って心を試させたと伝えられている。岩は二つ並んでいるが、東方の岩が加西市の天然記念物に指定されている「ゆるぎ岩」である。高さ4m、最大周囲6.6mの巨岩であり、上部が尖って中部でふくらみ、下部が細くなった立卵形をしている。下にある岩の上に直立しており、人の力で押すと揺れ動くので、この名がつけられている。伝承を今に伝える景観資源である。

出典：加西市HP、加西市観光まちづくり協会HP、ハートにぐっと北播磨HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☐ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市畑町字イザナギ山
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	法道仙人
	活動団体等	
	関連する景観	

奥山寺（楓の紅葉が美しい古刹）



奥山寺参道の紅葉



奥山寺 仁王門



奥山寺 多宝塔



奥山寺 地蔵院 庫裏・客殿



青嶺山奥山寺は、白雉元年（650）法道仙人の開基と伝える寺院である。七堂伽藍の備わった寺院で、境内には均整のとれた美しい姿の多宝塔（県指定文化財）が建つ。

裏山には四国八十八か所の石祠（せきし）が並んでおり、毎月 21 日には弘法大師供養が行われている。

春には桜が美しい。また山すその地蔵院から本堂へ上る急な石段（145 段）の両側には楓の大きな木が並び、紅葉の季節になると楓の葉が真っ赤に色づき、地蔵院の屋根を背景に美しい景観をつくりだす。

出典：加西市 HP、加西市観光まちづくり協会 HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 ☒ 豊かな自然景観 ☐ 自然・緑あふれる農山村景観 ☐ 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ☒ 地域固有の文化的景観	所在地	加西市国正町 15
	百選等実績	
	祭礼、行事等	弘法大師供養
	関係人物	法道仙人
	活動団体等	
	関連する景観	